

地球温暖化対策技術開発事業(競争的資金)

(担当：地球環境局地球温暖化対策課)

20年度予算額 37億円

目的・意義

更なる温室効果ガス削減のためには、既存の対策技術に加え、新たな対策技術の開発・実用化・導入普及を進めていくことが必要不可欠です。そこで、**実用的な温暖化対策技術の開発について**、公募により選定した民間企業等に委託又は補助して行います。

事業内容

以下の技術開発分野ごとに実用的な温暖化対策技術の開発について、**優れた技術開発の実施に係る提案と実施体制を有する民間企業等を公募により選定し**、委託又は補助して行います。

1. 省エネ対策技術実用化開発【委託】

省エネ対策技術の実用化を目指した先導性・先見性が高い技術開発・実証を行います。

- (1) 重点テーマ 「家庭・業務部門における消費エネルギーの低減のための省CO₂化システムに係る技術開発」
- (2) 自由提案
(1)のほか、例えば、フロン対策など他の温室効果ガスの排出削減にもつながる有意義・有望な省エネ対策技術を対象とします。

2. 再生可能エネルギー導入技術実用化開発【委託】

再生可能エネルギーの導入技術の実用化を目指した先導性・先見性の高い技術開発・実証を行います。

- (1) 重点テーマ 「バイオマス資源総合利活用システムに係る技術開発」
「安全な革新的水素貯蔵・輸送技術に係る技術開発」
- (2) 自由提案
(1)のほか、再生可能エネルギーの利用拡大につながる有意義・有望な対策技術を対象とします。

3. 都市再生環境モデル技術開発【委託】

都市の特性を踏まえた先導性・先見性が高い地球温暖化対策に係る技術開発・実証を行います。

- (1) 重点テーマ 「分散型エネルギーや未利用エネルギーをネットワーク化し都市全体での効率的な利用を実現する都市システム技術に係る開発」
- (2) 自由提案
(1)のほか、都市再生にもつながる有意義・有望な地域モデルの技術開発・実証を対象とします。

4. 循環資源由来エネルギー利用技術実用化開発【委託】

循環資源由来エネルギーによる高効率発電技術等の実用化に係る有意義・有望な対策技術を対象とします。

- (1) 重点テーマ 「中小規模都市ごみ発電分野におけるガス化改質発電技術の開発・実証」
- (2) 自由提案
(1)のほか、循環資源由来エネルギーの利用拡大につながる有意義・有望な対策技術を対象とします。

5. 製品化技術開発【補助】

技術開発委託事業の成果等により実用化が十分に期待出来る地球温暖化対策技術の製品化のための技術開発を行います。

委託・補助内容

1. 対象者：民間企業、公的機関、大学等
2. 対象事業：実用的な温暖化対策技術開発
3. 負担割合：1.~4.については、国からの委託事業
5.については、総事業費の1/2を補助

| | |
|------|-------|
| 総事業費 | |
| 環境省 | 民間団体等 |
| 1/2 | 1/2 |